



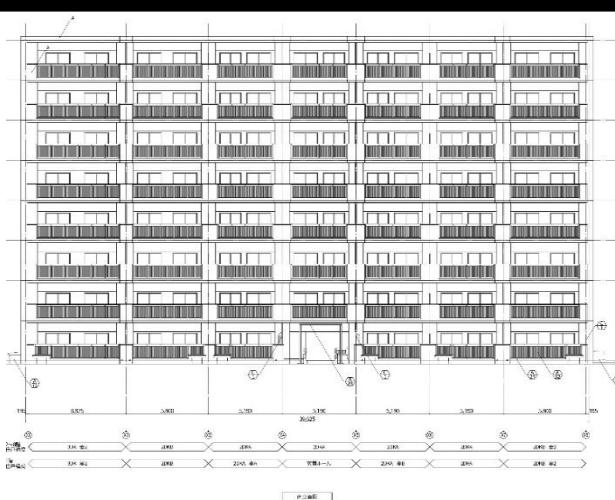
# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

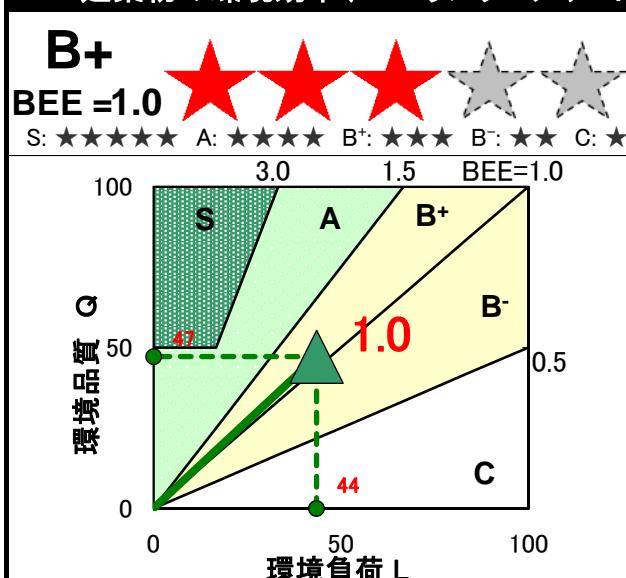
## 1-1 建物概要

建物名称	春日出第2住宅1号館建設工事	
建設地	此花区春日出北3丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	大阪市長	
設計者	大阪市都市整備局	
敷地面積	2,713.88	m <sup>2</sup>
建築面積	499.04	m <sup>2</sup>
延床面積	3,117.83	m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造	/ 地上8階
完了年(予定)	2026年10月	

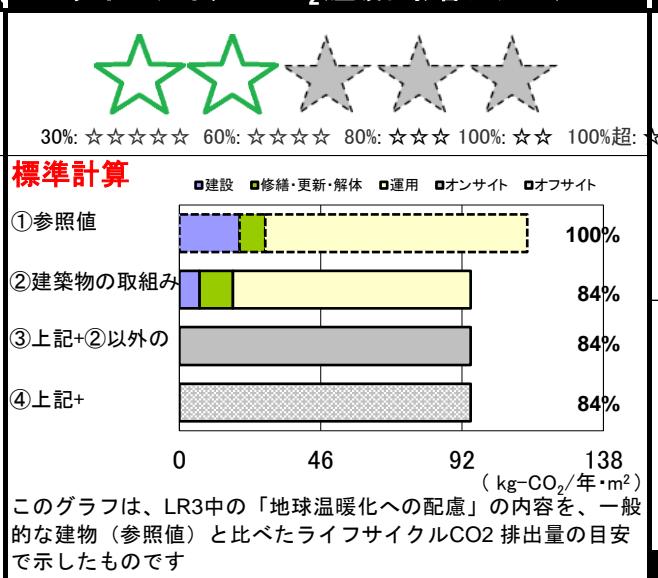
## 1-2 外観



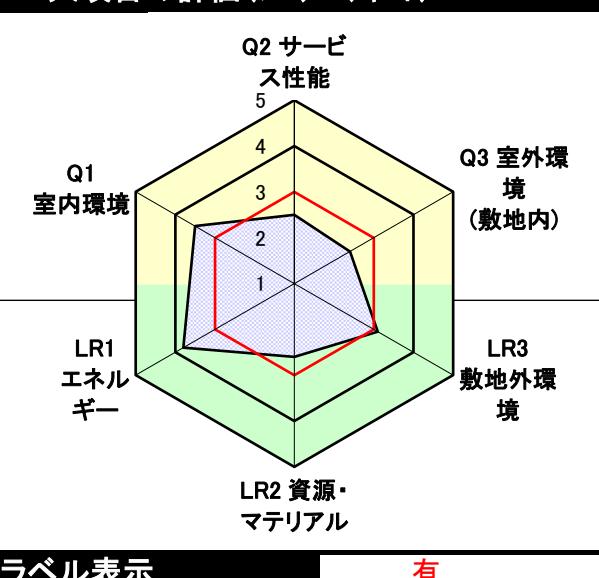
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



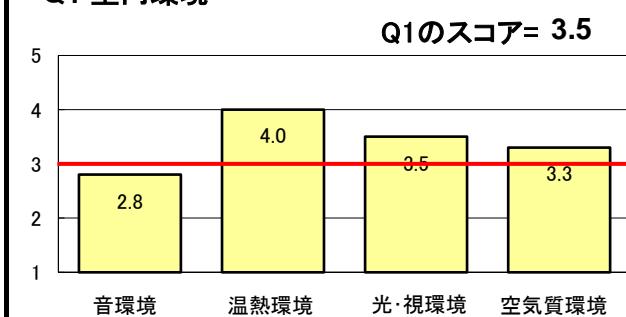
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



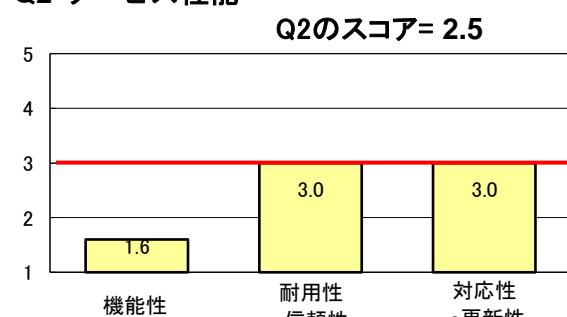
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質

#### Q1 室内環境



#### Q2 サービス性能



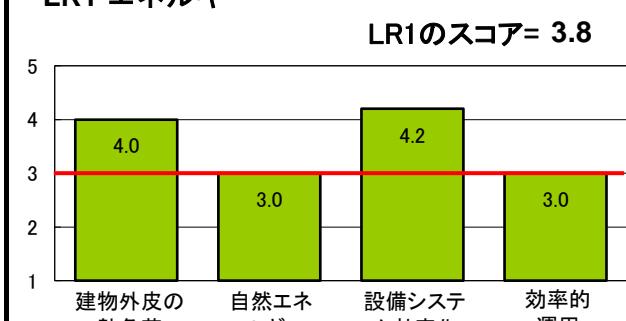
#### Q のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

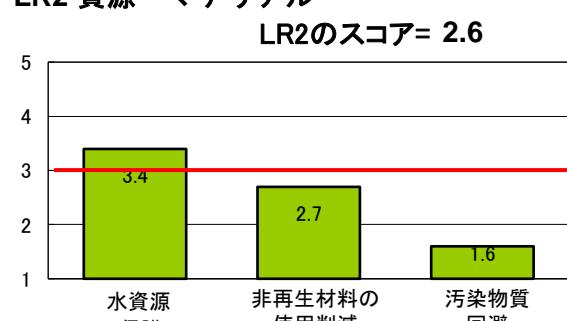


#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

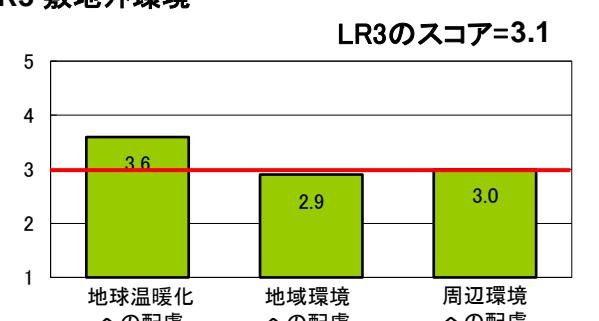


##### LR2 資源・マテリアル



#### LR のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

本件住宅は、室内環境の向上を目指しシックハウス対策として、F★★★★の材料を使用している。また、建物の長寿命化に取り組んでおり、躯体の長寿命化を目指している。

### その他

特に無し。

#### Q1 室内環境

住宅性能評価の断熱等性能で等級4を満足する外皮性能を確保している。開口部は大きく設け、日光率を確保するように計画している。

#### Q2 サービス性能

躯体材料の耐用年数を70年とするため、水セメント比50%のコンクリートを使用しており、住宅性能評価で等級3を満足する長寿命の建物を計画している。

#### Q3 室外環境 (敷地内)

敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。

#### LR1 エネルギー

自然エネルギーについて、台所から居間までの2方向通風を確保することにより、建物の負荷低減に配慮している。

#### LR2 資源・マテリアル

節水コマ・節水型便器を採用することで、節水対策に配慮している。

#### LR3 敷地外環境

交通負荷制御について、各戸当たり2台の駐輪場を設置している。

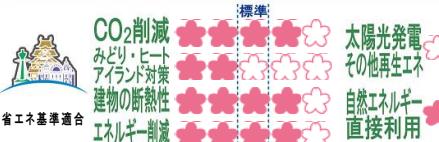
# 建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示

大阪市建築物環境性能表示

総合評価 ★★★★☆



評価は、CASBEE大阪みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。  
「CASBEE 大阪みらい 新築」2018年版 受付番号 令和6年度 №225

環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.6 「3-1.劣化対策等級(構造躯体等)」等級3に相当
配慮事項	日本住宅性能表示基準「3-1.劣化対策等級(構造躯体等)」等級3に相当し、躯体材料の耐用年数を高めた。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	1.0 外構の緑化
Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上	3.0 緑地の設置
LR3/ 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善	3.0 敷地内の風通し
配慮事項	可能な限り敷地内に緑地を確保した。 既存施設と同様の配置により、風通しを確保した。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.0 日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」等級4に相当
配慮事項	日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」等級4に相当し、外皮平均熱貫流率を建築物エネルギー消費性能基準以下となるよう断熱材を設置した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	4.2 照明仕様
配慮事項	本工事で設置する照明設備はLEDを使用した。

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) 等級4 (相当)	非住宅部分[BPI][BPIm] -	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.89	住宅部分[BEI] 0.89	非住宅部分[BEI][BEIm] -